GX・カーボンニュートラル対応セミナー　　企業連携講座　特別企画

8/28（金）2026 サプライチェーンで進めるエネルギー管理の高度化

“見える化”と省エネの実践から始める脱炭素対応

WEBセミナー LIVE 配信

主催：一般財団法人 省エネルギーセンター
協力：株式会社 エニマス

定員200名（先着順）　受講料無料

エネルギー価格の変動、脱炭素経営への対応、取引先からのCO_2削減要請など、企業を取り巻く環境は大きく変化しています。これからの省エネ・脱炭素対応では、自社単独の取組にとどまらず、サプライチェーン全体でエネルギー使用量やCO_2排出量を把握し、継続的な改善につなげていく視点が重要になっています。一方で、限られた人員や予算の中で省エネを進める企業にとっては、「**何から始めればよいかわからない**」「**データはあるが改善活動につながらない**」「**診断や見える化の結果を、現場での具体的な行動に結びつけられない**」といった課題も少なくありません。

本セミナーでは、サプライチェーンで**求められるこれからのエネルギー管理の考え方**を整理するとともに、**“見える化”を活用した省エネ活動の第一歩**、さらに改善実行につなげるための現場活動や小集団活動の考え方を、3つの講演を通じてわかりやすく紹介します。

省エネ・脱炭素対応をこれから進めたい企業、取引先への支援を検討する企業・団体、エネルギー管理の実践方法を見直したい事業者に向けて、コスト削減と脱炭素対応を両立するためのヒントを提供します。

講演 Program 14:00～16:00

※本セミナーは、Web 会議・セミナーツール「Zoom」による Live 配信のセミナーです。
接続の開始は13時50分頃からを予定しています。（内容やタイトルが変更になる場合があります）

1 サプライチェーンで求められる これからのエネルギー管理 ― 快適性とコスト削減を両立する運用のヒント ―

講演：一般財団法人 省エネルギーセンター　顧客支援部

エネルギー価格の変動や脱炭素対応、取引先からのCO_2削減要請などにより、企業に求められるエネルギー管理は変化しています。本講演では、サプライチェーン全体で省エネ・脱炭素を進める必要性を整理し、限られた人員や予算の中で、どのように優先順位を考えるべきかを解説します。

2 サプライチェーン対応もここから始める “見える化”とエネルギー管理の実践 ― データを活かした省エネ活動の第一歩 ―

講演：株式会社 エニマス

省エネ活動を継続的に進めるためには、エネルギー使用状況を把握し、改善のきっかけを見つけることが重要です。
本講演では、中小事業者でも取り組みやすい“見える化”の進め方や、データを活用して省エネ活動につなげるための考え方を事例を交えて紹介します。

3 【 見えた課題を、現場の改善行動につなげる 】 省エネは、なぜ途中で止まるのか？ ― 見える化から改善実行につなげる考え方 ―

講演：一般財団法人 省エネルギーセンター　顧客支援部

エネルギー使用量の見える化や省エネ診断によって課題が明らかになっても、実際の改善行動に結びつかず、省エネ活動が途中で止まってしまうケースがあります。本講演では、省エネ活動が進みにくい理由を整理し、現場の気づき、支援制度の活用を通じて、改善実行につなげる考え方を紹介します。

講演の合間に休憩をとる予定です。セミナー講演終了後、15:50ごろからQ&Aの実施を予定しております。

お申込み確認後、事務局より Zoom の 招待メール を送信いたします。　要事前申込

お問い合わせ
省エネルギーセンター　顧客支援部　◆メール　seminarjyukousya@eccj.or.jp
※本セミナーに関する電話でのお問い合わせについてはご対応しておりません。

参加お申し込みはこちらの「WEB」フォームをご利用ください。

申し込みしめきり日 8/26

テキストの事前配布は行いません。ご希望の方は、セミナー終了後アンケートにご協力ください。
申し込みフォームがご利用いただけない場合は上記アドレスに メールにてお申込みください。
※本セミナーはWEB会議システムを使用して配信いたします。ご視聴環境については予めご自身でご確認ください。